

SONIC CITY

2025 SERIES

2:00pm, November 15th (SAT),
2025

152

ソニックシティ 2025シリーズ 第152回さいたま定期演奏会
2025年11月15日(土) 午後2時開演／ソニックシティ 大ホール

第152回さいたま定期演奏会 日本フィルハーモニー交響楽団

ベートーヴェン ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.61 (約43分)

Ludwig van BEETHOVEN: Concerto for Violin and Orchestra in D-major, op.61

～休憩(20分)～

ドビュッシー (ビュッセル編曲) 小組曲 (約15分)

Claude DEBUSSY(Arr. by Henri BÜSSER): Petite suite

ラヴェル ボレロ (約15分)

Maurice RAVEL: Boléro

指揮: **西本智実**

Conductor: NISHIMOTO Tomomi

ヴァイオリン: **金川真弓**

Violin: KANAGAWA Mayumi

コンサートマスター: **田野倉雅秋** [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

主催

公益財団法人埼玉県産業文化センター / さいたま市 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援

埼玉県 / 埼玉県教育委員会 / さいたま市教育委員会 / 埼玉県吹奏楽連盟

協賛

武蔵野銀行

【アンケートのお願い】今後のソニックシティ主催公演参考のため、アンケートへのご協力をお願いいたします。アンケートにお答えいただきました方から抽選で3名様に本日の出演者西本智実氏と金川真弓氏のサイン色紙をお送りいたします。右の二次元コードより、スマートフォン・タブレットからお答えください。(所要時間約5分)



▶本公演は最終楽曲が終了し、指揮棒が下りて以降は写真撮影が可能です(アンコールは除く)。撮影はスマートフォン・携帯電話をご使用いただき、自席にてご着席のままお願い致します。撮影時は周りのお客様へご配慮いただきますようお願い致します。



© 木村直軌

指揮：西本 智実

世界約30か国の各国を代表するオーケストラ・名門国立歌劇場・国際音楽祭より招聘。

ダボス会議（WEF）ヤンググローバルリーダー、大阪音楽大学客員教授、ビューティー&ウェルネス専門職大学客員教授、大阪国際文化大使、東洋文庫諮問委員他。

「平城遷都1300年記念公演」、「高野山開創1200年記念法要」、「ラクイラ音楽ホール落成コンサート」、「日ブラジル外交関係樹立120周年」、「ペルー共和国独立記念コンサート」、北京大劇院における「日中平和友好条約締結40周年」など歴史的演奏会に招聘、また2013年より「パチカン国際音楽祭」より招聘されている。

2025年天正遣欧使節440周年記念ポルトガル4都市での公演をプロデュース。

Fondazione pro Musica e Arte Sacra名誉賞、芸術監督としての舞台演出・指揮「泉涌寺/東寺音舞台」は国際賞を受賞。令和6年度文化庁長官特別表彰など受賞多数。

日本を代表する芸術家として、ドキュメンタリー番組がCNN インターナショナル、ZDF、独仏共同テレビArteなどで放送・配信。

EXPO 2025 大阪・関西万博、ローマ教皇庁パピリオン／イタリアパピリオンのアンバサダーを両国政府より任命。パチカンパピリオンのテーマ〈美は希望をもたらす〉のもと、パチカンナショナルデー公式催事コンサートをオーガナイズし、VATICAN NEWS を通じて世界に配信。イタリアパピリオンのテーマ〈芸術は生命を再生する〉に基づき、「天正遣欧少年使節が奏でた 音楽と祈りのコンサート」、「アントレプレナーシップ・コンサート」をプロデュース。

・西本智実公式ホームページ：<https://www.tomomi-n.com/ja/>



ヴァイオリン：金川 真弓

2018年ロン＝ティボー国際音楽コンクール第2位&最優秀協奏曲賞受賞、19年チャイコフスキー国際コンクール第4位、24年ジョルジュ・エネスク国際コンクール優勝&ジョルジュ・エネスク・ソナタ賞受賞。同年、日本製鉄音楽賞《フレッシュアーティスト賞》、25年ホテルオークラ音楽賞、出光音楽賞受賞。プラハ放響、マリインスキー劇場管、ドイツ・カンマーフィルハーモニー管、フィンランド放響、ベルギー国立管、モスクワ・フィル、ロイヤル・フィル、ベルリン・コンツェルトハウス管等、日本ではN響をはじめ全国のオーケストラと度々共演。これまでにハンヌ・リントウ、セバスティアン・ヴァイグレ、ユーリ・シモノフ、パスカル・ロフエ、カーチュン・ウォン、アンドリュウ・リットン、リオ・クオクマン、エリアス・グランディ、トーマス・ダウスゴー、シルヴァン・カンブルラン、

レナード・スラットキン、マティアス・バーメルト、小林研一郎、秋山和慶、尾高忠明、小泉和裕、井上道義、広上淳一、高関健、沼尻竜典、川瀬賢太郎、山下一史、杉山洋一、横山奏、沖澤のどか等の指揮者と共演。ハンヌ・アイスラー音楽大学でコリヤ・ブラッハーに、また名倉淑子、川崎雅夫、ロバート・リプセットの各氏に師事。使用楽器は、日本音楽財団貸与のストラディヴァリウス「ウィルヘルミ」（1725年製）

念 ～記念の傑作、信念の実現～

ベートーヴェン ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.61

様々なジャンルの作品を手掛けた、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770–1827）。そんな彼が唯一完成させた記念すべき「ヴァイオリン協奏曲」であると同時に、この分野における名曲中の名曲といわれる存在がこの曲だが、1806年の初演当時において異例づくめの作品であったことも間違いない。

何しろ第1楽章からして、ティンパニが最弱音でリズムを刻むという、従来の協奏曲には聴かれなかったような出だしである。つまり脇役ともいえるオーケストラが、独奏ヴァイオリン同様、雄弁に語る、あるいは両者が四つに組んで、1つの音楽世界を創り上げる。しかもこの特徴は、変奏曲形式で書かれた第2楽章でも顕著で、第1変奏から第3変奏に至るまで、独奏ヴァイオリンは主題を演奏せず、オーケストラに華を添えるような役割に徹する。かと思えば第3楽章は、いきなり独奏ヴァイオリンが主導権を握って始まる。

当時は、フランス革命の「自由・平等・友愛」を広めることを錦の御旗に、ナポレオン・ボナパルト（1769–1821）がヨーロッパ中に戦争を仕掛けていた時代。ベートーヴェンの住んでいたウィーンもそんな彼の標的になる中で、ベートーヴェン自身は「戦争」ではなく「音楽」を通じて、革命を起こしていった。様々な進取の気性に富んでいると同時に、この協奏曲全体に具わっている安らぎや輝かしさも、そんなベートーヴェンならではの姿勢を物語っているのではないか。

ドビュッシー（ビュッセル編曲） 小組曲

19世紀末から20世紀初頭にかけて、西洋クラシック音楽の潮流を大きく塗り替えた存在としても知られる、フランス出身のクロード・ドビュッシー（1862–1918）。現在でこそ彼はフランス音楽の代表者のように言われているものの、20歳代前半まではドイツやロシア等の音楽からも大きな影響を受けていた。

そんなドビュッシーが、文字通りいかにも「フランス風」の音楽を数多く発表してゆくようになったのは、20歳後半になってから。それを物語る記念すべき存在の1つこそ、1886年から89年にかけて作られたピアノ連弾用の『小組曲』である。

全体は、「小舟にて」「行列」「メヌエット」「バレエ」の4曲から成っている。またそれらを貫くのは、18世紀のフランスを代表する画家、アントワヌ・ヴァトー（1684–1721）が描いた細やかで洒脱な貴族の宴、あるいはそこから着想を得た19世紀フランスの詩人オール・ヴェルレーヌ（1844–96）やテオドール・ド・ヴァンビル（1823–91）の詩『艶やかな宴』の世界のイメージだ。

初演後、ドビュッシーの友人であったアンリ・ビュッセル（1872–1973）が、管弦楽用に編曲をおこなった。本日はその版が演奏される。

ラヴェル ボレロ

ドビュッシーと並び、当時のフランス音楽を代表する作曲家モーリス・ラヴェル（1875–1937）。だが彼が生きた19世紀末から20世紀にかけてのヨーロッパは、未曾有の華やかな繁栄の陰で、公害や恐慌、貧困や格差などといった様々な矛盾が積もりに積もり、遂に第一次世界大戦という未曾有の悲劇が生じてしまう。

そうした最中、ラヴェルは既に高名な音楽家だったにもかかわらず、世界の閉塞を戦争が刷新してくれるのではないかと期待して、志願して前線に赴く。ところが、戦場に繰り広げられた地獄絵図を体験した彼は、立ち直れないほどのショックを経験。しかもそこへ最愛の母の死も加わって、極度のスランプに見舞われてしまう。

そうした中で、新作バレエのための作品として1928年に書かれたのが『ボレロ』だ。スペインの伝統舞踊を基としながら、間断なくたたき続けられる小太鼓のリズムにのって、たった2つのメロディを管弦楽の名人芸がリレーしてゆくという異例の内容。そこには、音楽にのみよって自らの深い傷の克服を実現しようともがくラヴェルの姿が刻み込まれているかのようだ。

曲目解説：小宮正安

オペラと音楽

2025年10月、新作オペラ「平家物語」の初演が、大宮ソニックシティの主催によって行われました。それを記念して今シーズンのコラムでは、日本フィルさいたま定期演奏会で取り上げられる作曲家と「オペラ」や「歌」の関係にまつわるエピソードをお届けします。

新たな時代 vs. オペラ



『子供と魔法』ピアノ伴奏用楽譜の表紙。
アンドレ・エレ画。1925年。

ドビュッシーとラヴェル。ともに近現代のフランス音楽の代名詞のような作曲家であり、15歳も年が離れていない2人である。ところが、彼らの間には大きな違いもある。その一例が、大規模なオペラを作ったかどうか、ということ。

オペラというと、上演時間が長いのが特徴だ。これは元々オペラが、貴族の催す長大な祝祭の一部を成し、しかも様々な楽しみが奪われてしまう冬を中心に、彼らの退屈を和らげる目的ゆえに上演されていたためだ。というわけで、何時間も続く絢爛豪華な宴席同様、長ければ長いほどよろしい、ということになる。

19世紀に入っても、そうした傾向はさほど変わらなかった。当時は、貴族をはじめとする特権階級にかわって市民階級が力を持ち、それまで貴族の専有物だった贅沢を市民が手に入れていった時代。オペラもその1つであって、「長大さ」そのものも作品のステイタスとなる。さらにそうした長さを最大限活用し、そこに芸術性を色濃く加味してゆく、ということも行われるようになった。

その典型が、作曲だけではなく自ら台本も手掛けたリヒャルト・ワーグナー(1813-83)。彼の作品は、その後の世代に多大な影響を与えた。とともに、その後の世代の作曲家は、ワーグナーの巨大すぎる影を乗り越えてオペラを作らなければいけない、という試練に立たされる。ドビュッシーもその1人であり、彼が生涯唯一完成させたオペラ『ペレアスとメリザンド』は、禁断の愛をテーマにしたワーグナー風の筋書ながら、そこから逃れようとするドビュッシー自身の格闘を随処に聴きとれる。

そんなドビュッシーの後輩格にあたるラヴェルは、さらにその上を行く。彼は生涯2つのオペラ(『スペインの時』『子供と魔法』)を書いているが、両者ともそれぞれ50分にも満たない短さ。しかも前者は男女の織り成す艶笑話、後者は子供向けファンタジーといった具合に、ワーグナー風の芸術的深刻さを抜け出そうという姿勢が明らかだ。

ちなみに、ドビュッシーが『ペレアスとメリザンド』に着手したのは19世紀末、かたやラヴェルが上記2つのオペラを手掛けたのは1910年代以降。20世紀という新たな時代を迎え、オペラの長さも理念も、大きく変わっていった。

第152回さいたま定期演奏会に寄せて

この度は第152回さいたま定期演奏会の開催を心よりお慶び申し上げます。

今回はステージ両側に、どちらも樹齢約200年の五葉松（ゴヨウマツ）を展示させて頂きました。五葉松は古くから縁起の良い木として親しまれてきた日本固有種の樹木でございます。

左側には、文人樹形に仕立てた五葉松を飾らせていただきました。軽妙洒脱な雰囲気の立ち姿に加え、力強い幹の太さと勢いある枝の作りが見事な逸品でございます。正面に抱えた大きな舍利が、一層古さを際立たせております。

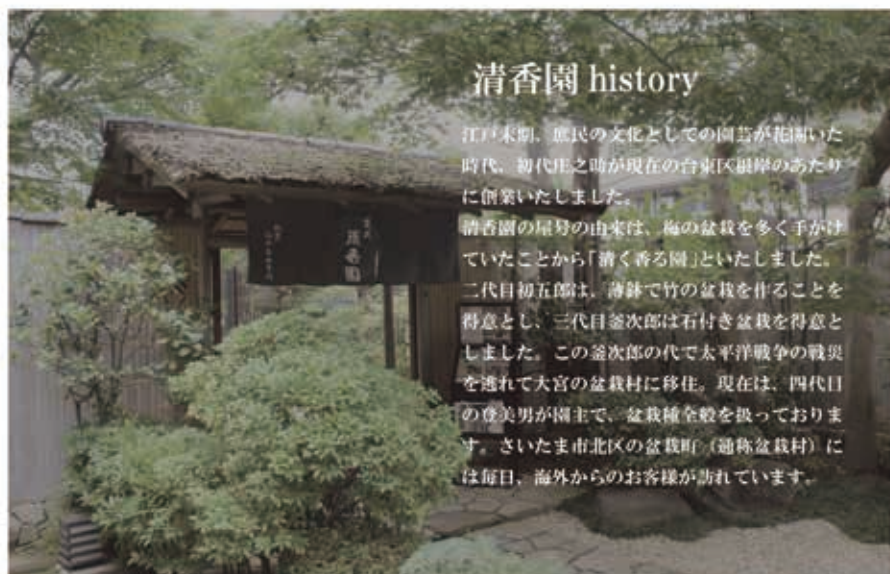
右側には、斜幹樹形の五葉松を飾らせていただきました。幹が斜めに伸び、山の傾斜などに自生する力強い松の姿を想起させます。立ち上がりから頭にかけて、徐々に急になってゆく、曲線の作り方が見所となっております。

どちらも同じ五葉松でありながらも、片方は黄緑色の葉をした金性の五葉松。もう一方は濃い緑色に白い線の入った銀性の五葉松となっており、こういったところも、盆栽の見分け方のひとつとなっております。

オーケストラの演奏と、盆栽の景色の調和をお楽しみいただけましたら幸甚に存じます。

盆栽清香園 山田寅幸





清香園 history

江戸末期、庶民の文化としての園芸が花開いた時代、初代庄之助が現在の台東区根岸のあたりに創業いたしました。

清香園の屋号の由来は、梅の盆栽を多く手がけていたことから「清く香る園」といたしました。

二代目初五郎は、薄鉢で竹の盆栽を作ることを得意とし、三代目釜次郎は石付き盆栽を得意としました。この釜次郎の代で太平洋戦争の戦災を逃れて大宮の盆栽村に移住。現在は、四代目の登美男が園主で、盆栽種全般を扱っております。さいたま市北区の盆栽町（通称盆栽村）には毎日、海外からのお客様が訪れています。

お客様に一番身近な「窓口」としての 専門店を目指して

盆栽園という枠組みに捉われず、
お客様に寄り添う専門店を実現していきます。



日本フィル・ソニックシティ
「第九」演奏会2025
2025 **12.12** FRI
開場18時 開演19時

指揮：出口大地
ピアノ：鈴木愛美（第12回浜松国際ピアノコンクール第1位）
ソプラノ：砂田愛梨 メゾソプラノ：山下裕賀
テノール：石井基幾 バリトン：高橋宏典
合唱：埼玉第九合唱団
曲目：ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第2番
ベートーヴェン／交響曲第9番「合唱」

©Satoru Masuko ©Yoshinobu Fukaya
©hiro.pborg_berlin ©FUKAYAauraY2 ©hiro.photo

公演詳細
QRコード

日本フィルハーモニー交響楽団
第153回さいたま定期演奏会（バレエ公演）
2026 **1.31** SAT
開場13時20分 開演14時

指揮：飯森範親 バレエ：牧阿佐美バレエ団
曲目：★印＝バレエ付き
シェトラスⅡ世／美しく青きドナウ／トリッチ・トラッチ・ボルカ★／ボルカ「元気にやろうぜ」／ボルカ「ハンガリー万歳」
ハチャトゥリアン／仮面舞踏会～ワルツ★
チャイコフスキー／白鳥の湖からワルツ／「情景（第2幕冒頭）」★／くるみ割り人形から「トレバック」★／「花のワルツ」★
ドヴォルジャーク／交響曲第9番「新世界より」

©山岸伸 ©山廣康夫

公演詳細
QRコード

日本フィルハーモニー交響楽団
第154回さいたま定期演奏会
2026 **3.28** SAT
開場13時 開演14時

指揮：尾高忠明 ピアノ：牛田智大
曲目：ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
ベートーヴェン／交響曲第5番「運命」

©Martin Richardson ©Ariga Terasawa

公演詳細
QRコード

会場：ソニックシティ 大ホール

※演者・曲目変更もございます。予めご了承ください。

■チケット価格（単独券）

S：6,000円 A：4,500円 B：3,500円 Ys：2,000円（1.31/3.28）

S：7,000円 A：5,500円 B：4,000円 Ys：2,000円（12.12）

ホールメンバーズ、チョイス券など、各種割引あり

好評発売中！

©堀隆弘

人類の音楽史絵巻（全4章）
2026 **3.22** SUN
開場14時 開演15時

脚本・指揮：西本智実
管弦楽：イルミナートフィルハーモニーオーケストラ
会場：ソニックシティ 大ホール

チケット価格
S席：12,000円 A席：10,000円 B席：8,000円

各種プレイガイドで販売中！

公演詳細
QRコード

SONIC CITY SERIES 2026

日本フィルハーモニー交響楽団さいたま定期演奏会

生

vol. 155

生命の躍動 人生への感謝
2026年5月30日(土) 14時開演
指揮 鈴木保人 フルート Cocomi



激

vol. 156

激動の時代 激情の結晶
2026年7月3日(金) 19時開演
指揮 吉本智美 ピアノ 賀川風



幻

vol. 157

理想の幻境 怪異への幻惑
2026年9月24日(土) 14時開演
指揮 小林研一郎
ヴァイオリン 関勝美奈



愁

vol. 158

故郷への哀愁 開かれる愁眉
2026年11月7日(土) 14時開演
指揮 広上淳一 チェロ 宮田大



舞

vol. 159

妙なる舞曲 華麗なる演舞
2027年1月23日(土) 14時開演
指揮 山下定
バレエ 秋岡舞奏バレエ団



唱

「第九」演奏会2026
友愛への唱和 理想への絶唱

2026年12月19日(金) 19時開演
指揮 藤岡昌 (ソプラノ) 岡崎彩夏
カラオケ・テナー 藤本大地 ラッパル 小堀美介
バソーン 池内豊 合奏 埼玉風九合奏団



唱

2026年12月19日(金) 19時開演
指揮 藤岡昌 (ソプラノ) 岡崎彩夏
カラオケ・テナー 藤本大地 ラッパル 小堀美介
バソーン 池内豊 合奏 埼玉風九合奏団



熱

vol. 160

湧き上がる情熱 噴き出る熱狂
2027年3月20日(土) 14時開演
指揮 藤岡幸夫 ピアノ 仲道朝代




SONIC CITY

〈2026年シリーズの聴きどころ〉チャイコフスキーの人生が波乱と充実にあちていた時代に生み出された「後期三大交響曲」を、1つのシーズンで体験できます。

開催場所・ソニックスイタホール | チケット料金(税込) 前155回 ~ 第160回 S席 6,000円 / A席 4,500円 / B席 3,500円 / Ys席 2,000円 | 「第九」演奏会2026 S席 7,000円 / A席 5,500円 / B席 4,000円 / Ys席 2,000円



～生演奏で踊るダンスイベント～

Sonic Dance Stage 2026

2026.2.7 (sat)

【高校ダンス部・同好会】



【Guest】



KO-nev

【Live Music】



Music Salon 音楽～おとしずく～

2026年2月7日(土) 18:00 会場：ニッポンシアターホール
 定価(前) 一般 3,000円 学生 2,500円(学生50%) TEL:042-841-7722(平日9時～17時)
 参加校：舞臺高校、大宮南高校、久喜工業高校、伊賀高校、ヒューマン・アカデミーのぞみ高校、磐ヶ丘高校、草加商業校、
 上尾商業校、杉戸高校、東戸高校、西武学院文庫中学・高校、羽生西高校、東洋高校、坂本高校、東北高校

Music Salon 音楽～おとしずく～
 KO-nev

【主催】公益財団法人埼玉県音楽連合会
 (協賛)埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会
 (協力)埼玉県文化芸術振興センター

SONIC CITY



**Sonic
Dance
Stage**



日本フィルハーモニー交響楽団

第414回 横浜定期演奏会

ウイーンの名手が贈る
珠玉のニューイヤークンサート

指揮・ヴァイオリン
ヴィルフリート・和樹・
ヘーデンボルク

「ウィーン・フィル」ハーモニー管弦楽団は、ヴァイオリン奏者

Copyright © 2004 John Wiley & Sons, Inc.

ヘートーヴェン:《献堂式》序曲

Leidraad van HERTHOFEN: Overtuig 'De Wereld des Mannes' op 124

モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第3番

Wolfgang Amadeus MOZART: *Concerning Violin and Orchestra*, No. 3 in G major, K. 216

ヨーゼフ・シュトラウス:ワルツ《我が人生は愛と喜び》

[img]STY AUSS: Mein Liebling ist hier und jetzt an der Spitze

ヨハン・シュトラウスⅡ世:

アンネン・ボルカ、ボルカ・シュネル《浮き立つ心》、ワルツ《ウィーン気質》、
ボルカ《帝都はひとつ、ウィーンはひとつ》、ワルツ《芸術家の生活》

Johann STRAUSS II. *Angewandte Math.*, 103, 117.

¹⁰ 'Leichtes Blut', op.319, 'Wiener Blut', op.324, 'S' gibt nur a Kauerstadt, c' gibt nur a Wien', op.281, 'Künstlerleben', op.316.

2026. **1.24** **土** 15:00/開演 横濱みなとみらいホール
14:10/開場 3000m January 24th Gaik. 2026 at Yokohama Minato Mirai Hall

■ 附 录 二 二 〇 〇 〇 年 度 公 司 董 事 会 成 员 名 单

S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 ¥5,000 YS(四段目)席 ¥2,500 好評発売中

※学費：芸術科下の方が多い傾向が有ります。受験料もかかるので、お支払下さい。お支払方法は、お申し込みの際にお知らせいたします。

● 車山風景、山頂からは雪化粧した富士山が一望できます。お土産に山頂の雪を頂いてください。

※除税票をお持ちの方は割引がございますので、十一ヶ所センターまでお問い合わせください。

※本イベントは観覧料を定めたお客様は、当日のスムーズなご来場のため、チケットご購入後、

二階大広間に日本フィニッシャービュサンダーへご連絡ください。

【主催】公益財団法人日本フットボール協会

【地址】 湖北省襄陽市 湖北中藥股份有限公司

【用法】 煎水内服之，每次100ml。

Figure 3. *g* and *h* are the same as in Figure 1. *g* is the same as in Figure 1. *h* is the same as in Figure 1.

(附內政部登記之獎勵學費)公開調查活動

總發行所：東京日本橋區本町二丁目



人、畜藥、肥料——結核菌・炭疽菌・牛痘苗。

 JAPAN

More For You
もっと、街・暮らし・笑顔のために

多彩な価値を結集し、
地域No.1のソリューションで埼玉の未来を切り拓く



武蔵野銀行